



平成30年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年1月31日

上場会社名 株式会社キングジム 上場取引所 東
 コード番号 7962 URL http://www.kingjim.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮本 彰
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理本部長 (氏名) 原田 伸一 (TEL) 03-3864-5883
 四半期報告書提出予定日 平成30年1月31日 配当支払開始予定日 平成30年3月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年6月期第2四半期の連結業績(平成29年6月21日～平成29年12月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第2四半期	15,819	1.5	538	170.3	647	129.1	416	—
29年6月期第2四半期	15,590	2.3	199	249.0	282	122.3	31	△31.2

(注) 包括利益 30年6月期第2四半期 793百万円(228.9%) 29年6月期第2四半期 241百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
30年6月期第2四半期	14.66		14.61	
29年6月期第2四半期	1.10		1.10	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
30年6月期第2四半期	28,834		21,007		71.6	726.82		
29年6月期	26,971		20,564		75.1	712.89		

(参考) 自己資本 30年6月期第2四半期 20,658百万円 29年6月期 20,262百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
29年6月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
	—	7.00	—	13.00	20.00
30年6月期	—	7.00			
30年6月期(予想)			—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

29年6月期期末配当金の内訳 普通配当 7円00銭 創業90周年記念配当 6円00銭

3. 平成30年6月期の連結業績予想(平成29年6月21日～平成30年6月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	36,000	4.0	1,670	1.8	1,860	1.7	1,260	4.7	44.33	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

30年6月期2Q	32,459,692株	29年6月期	32,459,692株
② 期末自己株式数	4,037,099株	29年6月期	4,036,993株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28,422,650株	29年6月期2Q	28,422,850株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、好調な企業業績を背景に、設備投資の持ち直しや、雇用・所得環境にも明るい兆しがみられるなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループでは数多くの新製品を発売し、新たな市場の創出と獲得に注力してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は158億1,931万円（前年同期比1.5%増）となりました。利益面では、売上原価率の低減等により、営業利益は5億3,822万円（前年同期比170.3%増）、経常利益は6億4,720万円（前年同期比129.1%増）となりました。また、前第2四半期連結累計期間に特別損失として計上した、製品の金型等の減損損失が、当第2四半期連結累計期間にはなかったことや、法人税等調整額の減少により、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億1,654万円（前年同期比1,232.0%増）となりました。

平成29年12月には、前年に続き、キングジムグループ各社の商品を集めた展示イベント「キングジムフェア2017」をベルサール秋葉原にて開催いたしました。今回は、開催日数を、前年の2日間から3日間に拡大したこともあり、2万人超のお客様にご来場いただき、当社グループ商品をご体感いただくことができました。

今後も、このようなイベントを通じて市場への一層の浸透を図り、需要の拡大に取り組んでまいります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来「インテリアライフスタイル事業」に含めていた当社の連結子会社である錦宮（香港）有限公司は、「文具事務用品事業」に区分を変更しております。

前年同期との比較は、変更後の区分に基づいております。

① 文具事務用品事業

ステーションナリーにおきましては、かさばらないバッグインバッグ「フラッティ」を平成29年10月に発売し、ご好評をいただいている他、コンパクトに持ち歩くことができるマスキングテープ「KITTA（キッタ）」の新柄・新アイテムの追加や、マスキングテープを活用してぬりえ感覚でシールが作れる「マスリエ」の初心者用セットを発売いたしました。

電子製品におきましては、平成25年に発売したガーリー「テプラ」に、大幅なスペックアップとデザイン刷新を行ったSR-GL2を発売いたしました。その他、コールセンターや店頭窓口での使用で高いご支持をいただいている「ブギーボード」シリーズに、10.5インチのハイコントラスト液晶を採用したBB-9と、お手頃価格のシンプルモデルBB-1GXを投入いたしました。オフィス環境改善用品では、デスクの引き出しに取り付ける、新しいタイプの収納用品「デスクポケット」や、空いたスペースにマグネットで棚を簡単に取り付けられる「マグトレ」を発売した他、デスクの上を効率的に整理できる収納棚「デスクボード」シリーズに、木製タイプを追加いたしました。

この結果、売上高は120億9,884万円（前年同期比1.4%増）、営業利益は、売上原価や販売費及び一般管理費の減少により4億7,186万円（前年同期比2,011.3%増）となりました。

② インテリアライフスタイル事業

㈱ぼん家具では、主力モールである楽天やAmazon、Yahoo!ショッピングにおいて、値下げセールやクーポン配布、ポイント付与などを積極的に活用し、拡販してまいりました。㈱アスカ商会では、最新のインテリアやファッションのトレンドに調和する高品質なアーティフィシャル・フラワーや、アーティフィシャル・グリーン、オフィスや公共スペースに多用していただける観葉植物の商品拡充を図り、拡販してまいりました。㈱ラドンナでは、主力のフォトフレーム、アロマディフューザーの新商品投入に加え、かき氷器や加湿器といった季節商材を展開し、拡販してまいりました。自社ブランドの「Toffy」キッチン家電シリーズにつきましても、新商品を投入し、シリーズとして拡充を図ってまいりました。

この結果、売上高は37億2,046万円（前年同期比1.6%増）、営業利益は、販促費や運賃等の増加による販売費及び一般管理費の増加により5,586万円（前年同期比61.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して、18億6,286万円増加し、288億3,422万円となりました。これは主に、商品及び製品が増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して、14億1,983万円増加し、78億2,665万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が増加したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して、4億4,303万円増加し、210億756万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フロー状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して6,307万円減少し、49億4,431万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、1億666万円(前年同期は5億4,585万円の資金獲得)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益6億4,220万円や仕入債務の増加額10億8,962万円があった一方、たな卸資産の増加額13億9,311万円や法人税等の支払額3億8,854万円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、前年同期に比べ3,886万円減少し、1億5,276万円となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入2億1,922万円があった一方、有形及び無形固定資産の取得による支出1億7,702万円や定期預金の預入による支出1億4,640万円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、前年同期に比べ2億6,925万円減少し、1億6,813万円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出1億4,300万円や配当金の支払いによる支出3億6,917万円があった一方、短期借入金の純増額6億8,000万円等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年1月26日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年12月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,212,988	5,077,312
受取手形及び売掛金	4,603,336	4,800,042
商品及び製品	5,401,063	6,651,664
仕掛品	388,716	395,156
原材料及び貯蔵品	1,106,796	1,262,636
繰延税金資産	236,848	216,128
その他	485,999	518,969
貸倒引当金	△2,389	△2,753
流動資産合計	17,433,359	18,919,158
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,628,004	5,631,100
減価償却累計額	△3,271,378	△3,300,185
建物及び構築物(純額)	2,356,625	2,330,914
機械装置及び運搬具	2,595,145	2,658,979
減価償却累計額	△2,014,097	△2,130,937
機械装置及び運搬具(純額)	581,048	528,042
土地	1,667,180	1,667,180
建設仮勘定	49,172	36,612
その他	2,816,051	2,724,879
減価償却累計額	△2,521,376	△2,415,617
その他(純額)	294,674	309,262
有形固定資産合計	4,948,700	4,872,010
無形固定資産		
のれん	249,629	178,307
その他	355,396	374,243
無形固定資産合計	605,026	552,550
投資その他の資産		
投資有価証券	2,254,477	2,694,436
退職給付に係る資産	1,162,221	1,178,566
繰延税金資産	107,496	112,965
その他	469,895	512,762
貸倒引当金	△9,821	△8,230
投資その他の資産合計	3,984,268	4,490,501
固定資産合計	9,537,996	9,915,062
資産合計	26,971,356	28,834,220

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年12月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,994,809	3,091,141
短期借入金	720,000	1,400,000
1年内返済予定の長期借入金	286,000	159,000
未払法人税等	407,236	202,893
未払金	561,095	641,272
役員賞与引当金	20,130	10,378
その他	1,032,989	813,904
流動負債合計	5,022,261	6,318,590
固定負債		
長期借入金	16,000	—
繰延税金負債	703,041	844,370
退職給付に係る負債	362,543	376,453
資産除去債務	17,413	3,129
その他	285,566	284,114
固定負債合計	1,384,565	1,508,068
負債合計	6,406,826	7,826,658
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,978,690	1,978,690
資本剰余金	2,507,159	2,507,159
利益剰余金	19,192,631	19,239,684
自己株式	△3,567,564	△3,567,672
株主資本合計	20,110,916	20,157,862
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	616,915	924,571
繰延ヘッジ損益	556	154
為替換算調整勘定	△399,328	△346,817
退職給付に係る調整累計額	△66,904	△77,534
その他の包括利益累計額合計	151,238	500,373
新株予約権	51,848	70,847
非支配株主持分	250,526	278,478
純資産合計	20,564,529	21,007,562
負債純資産合計	26,971,356	28,834,220

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年6月21日 至平成28年12月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年6月21日 至平成29年12月20日)
売上高	15,590,719	15,819,314
売上原価	9,873,086	9,689,160
売上総利益	5,717,632	6,130,154
販売費及び一般管理費	5,518,522	5,591,929
営業利益	199,109	538,224
営業外収益		
受取利息	4,884	5,275
受取配当金	38,056	38,454
為替差益	39,785	3,161
受取賃貸料	1,272	76,550
その他	24,481	16,428
営業外収益合計	108,480	139,870
営業外費用		
支払利息	11,149	3,626
賃貸収入原価	10,125	23,699
その他	3,797	3,559
営業外費用合計	25,072	30,886
経常利益	282,516	647,208
特別損失		
固定資産売却損	18	—
固定資産除却損	1,495	5,003
減損損失	48,288	—
特別損失合計	49,802	5,003
税金等調整前四半期純利益	232,714	642,205
法人税、住民税及び事業税	96,715	182,078
法人税等調整額	91,391	30,538
法人税等合計	188,106	212,616
四半期純利益	44,607	429,588
非支配株主に帰属する四半期純利益	13,335	13,040
親会社株主に帰属する四半期純利益	31,272	416,547

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年6月21日 至 平成28年12月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年6月21日 至 平成29年12月20日)
四半期純利益	44,607	429,588
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	297,264	307,655
繰延ヘッジ損益	6,723	△401
為替換算調整勘定	△100,019	67,423
退職給付に係る調整額	△7,248	△10,629
その他の包括利益合計	196,720	364,047
四半期包括利益	241,328	793,635
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	244,117	765,682
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,789	27,952

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年6月21日 至平成28年12月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年6月21日 至平成29年12月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	232,714	642,205
減価償却費	332,068	290,919
減損損失	48,288	—
のれん償却額	84,193	71,322
貸倒引当金の増減額(△は減少)	894	△1,269
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	22,258	21,933
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△46,752	△42,312
受取利息及び受取配当金	△42,940	△43,730
支払利息	11,149	3,626
為替差損益(△は益)	△86,400	△2,873
固定資産除売却損益(△は益)	1,514	5,003
売上債権の増減額(△は増加)	△244,160	△182,984
たな卸資産の増減額(△は増加)	△427,239	△1,393,117
その他の資産の増減額(△は増加)	△13,298	△35,053
仕入債務の増減額(△は減少)	667,534	1,089,623
未収消費税等の増減額(△は増加)	105,868	11,998
未払消費税等の増減額(△は減少)	56,579	△299,041
その他の負債の増減額(△は減少)	44,977	90,927
その他	31,467	10,649
小計	778,717	237,827
利息及び配当金の受取額	42,855	43,646
利息の支払額	△12,483	△3,577
法人税等の支払額	△263,235	△388,544
法人税等の還付額	—	3,979
営業活動によるキャッシュ・フロー	545,852	△106,667
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△238,455	△177,028
有形及び無形固定資産の売却による収入	5,162	—
敷金及び保証金の差入による支出	△2,552	△72,606
敷金及び保証金の回収による収入	26,856	27,389
定期預金の預入による支出	△141,400	△146,400
定期預金の払戻による収入	160,821	219,220
その他	△2,068	△3,342
投資活動によるキャッシュ・フロー	△191,636	△152,767
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,080,000	680,000
長期借入金の返済による支出	△443,000	△143,000
配当金の支払額	△199,291	△369,178
その他	△321	311
財務活動によるキャッシュ・フロー	437,387	168,133
現金及び現金同等物に係る換算差額	△25,508	28,231
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	766,095	△63,070
現金及び現金同等物の期首残高	4,032,840	5,007,383
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,798,935	4,944,312

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「文具事務用品事業」の海外製造子会社で発生する作業屑の売却取引は、従来、軽微なものとして簡便的に「営業外収益」の「屑売却益」として表示しておりましたが、重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より、原則的な処理である製造原価の控除としております。この変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書の組替えを行っております。なお、製造原価計算に与える影響が小さいことから、すべて「売上原価」の控除として処理しております。

この結果、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外収益」の「屑売却益」として表示していた29,119千円は、「売上原価」の控除として組み替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年6月21日 至平成28年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	文具事務用品 事業	インテリア ライフスタイル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,928,718	3,662,000	15,590,719	—	15,590,719
セグメント間の内部売上高 又は振替高	21,935	56,559	78,494	△78,494	—
計	11,950,654	3,718,559	15,669,213	△78,494	15,590,719
セグメント利益	22,349	144,096	166,446	32,663	199,109

(注) 1. セグメント利益の調整額 32,663千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「文具事務用品事業」において、収益性が低下し投資額の回収が見込めなくなったポータブルの金型等について、回収可能価額をゼロと見積り、減損損失として計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、48,288千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年6月21日 至平成29年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	文具事務用品 事業	インテリア ライフスタイル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,098,847	3,720,467	15,819,314	—	15,819,314
セグメント間の内部売上高 又は振替高	35,798	52,843	88,642	△88,642	—
計	12,134,646	3,773,311	15,907,957	△88,642	15,819,314
セグメント利益	471,863	55,865	527,728	10,495	538,224

(注) 1. セグメント利益の調整額 10,495千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「インテリアライフスタイル事業」に含めていた当社の連結子会社である錦宮(香港)有限公司は、「文具事務用品事業」の量的な重要性が増したため区分を変更しております。

また、「文具事務用品事業」の海外製造子会社で発生する作業層の売却取引は、従来、軽微なものとして簡便的に「営業外収益」の「屑売却益」として表示しておりましたが、重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より、原則的な処理である製造原価の控除としております。この変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書の組替えを行っております。なお、製造原価計算に与える影響が小さいことから、すべて「売上原価」の控除として処理しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分および表示により作成したものを記載しております。